

障害者職業カウンセラー職（経験者）採用試験における
各種試験の詳細および専門試験等について
2027年4月採用春季募集実施分

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

■目次

1. 障害者職業カウンセラー職（経験者）採用試験の概要・・・P. 3
2. 専門試験問題・・・P. 3～11
3. 少人数面接試験問題・・・P. 12

1. 障害者職業カウンセラー職（経験者） 採用試験の概要

書類審査	応募書類による書類審査	
第一次試験	職務適性試験 (TG-Web：言語、数理、論理等)	オンライン形式
	個別面接試験	
第二次試験	専門試験	集合形式
	少人数面接試験	対面形式
	個別面接試験	

2. 専門試験問題

A問題	架空の障害者の就労支援事例に対して考えられる支援内容とその理由を障害者職業カウンセラーの立場で検討し解答する。(解答時に精神障害、発達障害、高次脳機能障害の3つの事例から一つを選択する。)
B問題	職業リハビリテーションに関する語句の趣旨を解答する。

次頁以降に専門試験問題を掲載しています。

令和9年4月採用
障害者職業カウンセラー経験者採用試験

専 門 試 験 問 題

注 意 事 項

- 1 表紙に受験番号及び氏名を記入してください。
- 2 解答用紙は2枚あります。2枚の解答用紙のどちらにも受験番号を記入してください。
- 3 「始め」の合図があるまでは、頁をめくらないでください。
- 4 問題にはA問題とB問題があります。**A問題**は「精神障害」「発達障害」「高次脳機能障害」のうち**任意の障害種別を1つ選択し**、A問題解答用紙の障害種別選択欄のうち自身の選択した障害種別に必ず○を記入したうえで解答してください。B問題は全員共通の問題です。B問題解答用紙に解答してください。
- 5 専門試験の解答時間は2時間10分です。「止め」の合図があったらすぐに止め、筆記用具を置いてください。
- 6 本試験終了後、解答用紙とともに問題用紙も回収します。

受験番号	氏 名

A 問題（精神障害）

障害者職業カウンセラーの立場になって、以下の問 1～問 6 に答えなさい。

問 1 次の「A 氏の状況」を読んで、A 氏のニーズや想定される就職・職場適応に関する課題を踏まえ、A 氏自身が就職前にどのような取組をしておくことが望ましいか。最も重要と考える取組を 1 つ、解答用紙の「就職前の取組事項」欄に記述しなさい。

A 氏の状況
・ 20 代。男性。うつ病。 ・ 大学卒業後、情報系エンジニアとして 3 年間勤務。チームリーダーへの昇進後、業務量と責任の増加をきっかけにうつ病を発症し、休職と復職を繰り返した末に退職した。 ・ その後、同業種で再就職したが、本人は責任感が強く「リーダーであればこれくらいできて当然だ」「質にこだわって周囲の期待に応えたい」「迷惑をかけてはいけない」と考え、過剰に作業を請け負い、また、業務の質を高めようと長時間勤務を続けていた。そういった無理を重ねた結果、1 年後に体調を崩し退職（自己都合）した。 ・ 家族の支援を受け、通院、服薬、自宅療養を続け生活リズムは改善した。通院先のソーシャルワーカーと相談し精神障害者保健福祉手帳を取得。就労に関することは地域障害者職業センターへ相談してみてはどうかと勧められて来所した。 ・ 本人は「再発は避けたいが、職場にどこまで配慮を求めてよいのか分からない」「障害を開示して長く働けるなら、その方法を考えたい」と話している。

問 2 問 1 で解答した「就職前の取組事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問 3 問 2 で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、200 文字以内で記述しなさい。

問 4 問 1 及び問 2 で解答した支援を終えた A 氏が、次の B 事業所で、障害者トライアル雇用制度を活用し、3 か月間の雇用契約を結ぶこととなったとする。この状況において、以下の「B 事業所の状況」を踏まえ、A 氏の就業継続を図るために B 事業所に対してどのような支援を行うことが望ましいか。最も重要と考える支援を 1 つ、解答用紙の「B 事業所への支援事項」欄に記述しなさい。

B 事業所の状況

- ・金融機関の事務センター。従業員数 50 名。
- ・本人の勤務時間は 9:00～16:00（休憩 12:00～13:00）。週 5 日勤務。
- ・業務内容は、定型的なデータ入力、資料作成、社内メールの送受信等。
- ・身体障害者の雇用経験はあるが、精神障害者の雇用は初めてであり、本人への指導は、主に主任（正社員）が対応する。
- ・主任（正社員）より：用意された単純な数値を入力する作業から、各店舗へ問い合わせが必要な作業もあり難易度は様々。デスクワークなので疲れにくいと思うが、簡単な作業から慣れてもらおうと考えている。本人から相談があれば対応したいと考えているが、作業量や負担感の見極めに不安があるため、精神障害の特性について助言がほしい。

問 5 問 4 で解答した「B 事業所への支援事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問 6 問 5 で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、A 氏のニーズや特性、B 事業所の状況を踏まえて、200 文字以内で記述しなさい。

【メモ欄】

A 問題（発達障害）

障害者職業カウンセラーの立場になって、以下の問 1～問 6 に答えなさい。

問 1 次の「A 氏の状況」を読んで、A 氏のニーズや想定される就職・職場適応に関する課題を踏まえ、A 氏自身が就職前にどのような取組をしておくことが望ましいか。最も重要と考える取組を 1 つ、解答用紙の「就職前の取組事項」欄に記述しなさい。

A 氏の状況
・ 20 代、女性、自閉症スペクトラム症、抑うつ症状。 ・ 普通科高校を卒業し、食品メーカーでの事務補助として就職したが、指示内容や対応方法が担当者により異なり戸惑うことが多かった。6 カ月間で雇用契約が期間満了となり退職。その後、倉庫でピッキングのアルバイトに従事したが、作業手順の変更時に対応できず 3 カ月間で退職（事業主都合）した。 ・ 自信をなくし落ち込むことが増え、精神科クリニックを受診したところ、発達障害の診断を受け精神障害者保健福祉手帳 3 級を取得した。クリニックのケースワーカーから再就職の相談先として地域障害者職業センターを紹介されて来所に至った。 ・ 本人によると主治医から「臨機応変なコミュニケーションに困難さがある」「変化の少ない環境には適応しやすい」と言われたとのこと。本人も「決まった手順で進められる仕事は取り組みやすい」と話している。 ・ 今後について本人は「発達障害の診断のことは納得している」「職場で障害を開示することは可能」「身に付けた方が良いスキルがあれば教えて欲しい」「次は長く働ける職場を見つきたい」と話している。

問 2 問 1 で解答した「就職前の取組事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問 3 問 2 で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、200 文字以内で記述しなさい。

問 4 問 1 及び問 2 で解答した支援を終えた A 氏が、次の B 事業所で、障害者トライアル雇用制度を活用し、3 か月間の雇用契約を結ぶこととなったとする。この状況において、以下の「B 事業所の状況」を踏まえ、A 氏の就業継続を図るために B 事業所に対してどのような支援を行うことが望ましいか。最も重要と考える支援を 1 つ、解答用紙の「B 事業所への支援事項」欄に記述しなさい。

B 事業所の状況
・日用品を扱う小売店 ・従業員数約 40 名 ・本人の勤務時間は 9:30～16:30（休憩 12:00～13:00）、週 5 日勤務。 ・身体障害者の雇用経験はあるが、発達障害者の雇用は初めて。 ・商品棚の整理作業および品出し作業、バックヤードにおける段ボール開封作業および端末を用いたピッキング作業。 ・本人の指導は主に主任（正社員）が行う。 店長：最初は単純な作業から取り組んでもらおうと思っている。セール期間中は一時的に業務量が増えるが仕事は少しずつ覚えていってもらえば構わない。季節ごとに商品の配置が変わることがあり、朝礼や掲示板で周知している。不明なことがあれば遠慮せずに自分から質問してほしい。シフトの都合上、主任（正社員）がずっと本人のことをみることはできない。主任（正社員）は「本人には正確さを期待しているが、指示の出し方や変更時の伝え方に不安がある」と話している。

問 5 問 4 で解答した「B 事業所への支援事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問 6 問 5 で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、A 氏のニーズや特性、B 事業所の状況を踏まえて、200 文字以内で記述しなさい。

【メモ欄】

A 問題（高次脳機能障害）

障害者職業カウンセラーの立場になって、以下の問 1～問 6 に答えなさい。

問 1 次の「A 氏の状況」を読んで、A 氏のニーズや想定される就職・職場適応に関する課題を踏まえ、A 氏自身が就職前にどのような取組をしておくことが望ましいか。最も重要と考える取組を 1 つ、解答用紙の「就職前の取組事項」欄に記述しなさい。

A 氏の状況
・40 代、男性、高次脳機能障害（記憶障害、注意障害、遂行機能障害）。 ・大学を卒業後に機械メーカーの営業職として勤務し、発症時は管理職であった。2 年前に脳出血を発症し、身体機能に後遺症はなく 1 カ月で退院、その後 3 カ月間自宅療養を経て復職した。 ・復職後、取引先名や打ち合わせ内容を覚えられない、作成した書類に誤りが頻発するといった状況が改善せず、復職後 6 カ月で退職（事業主都合）となった。 ・地域の高次脳機能障害支援センターで障害者雇用という働き方があることを知り、精神障害者保健福祉手帳 3 級を取得。同センターから就労に関する相談先として地域障害者職業センターを紹介されて来所した。 ・本人は「確認をしてもミスが起きてしまう」「仕事の進め方が分からなくなり不安が強かった」と話している。 ・本人は「何か対策をした方が良くと思うが、どのようにすれば良いのかわからない」「家族を支えるために一定の収入を得たい」と話している。

問 2 問 1 で解答した「就職前の取組事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問 3 問 2 で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、200 文字以内で記述しなさい。

問 4 問 1 及び問 2 で解答した支援を終えた A 氏が、次の B 事業所で、障害者トライアル雇用制度を活用し、3 か月間の雇用契約を結ぶこととなったとする。この状況において、以下の「B 事業所の状況」を踏まえ、A 氏の就業継続を図るために B 事業所に対してどのような支援を行うことが望ましいか。最も重要と考える支援を 1 つ、解答用紙の「B 事業所への支援事項」欄に記述しなさい。

B 事業所の状況

- ・化学メーカー工場。従業員数 300 名。
- ・本人の勤務時間は 9:00～16:00（休憩 12:00～13:00）、週 5 日勤務。
- ・過去に身体障害者の雇用経験はあるが、高次脳機能障害者の雇用は初めて。
- ・総務部門の所属で、軽作業（ダンボール分解、メール便の集荷・配送補助、事務室内および敷地内通路の掃き掃除、備品の拭き掃除）、簡易事務（毎日発生する郵便に関するデータの確認と入力）を担当。
- ・総務課主任（正社員）が管理担当となり実際の作業指導は総務課の男性社員が行う。

総務課主任より：他部署との調整で不在にする時間もある。実際の作業は男性社員とマンツーマンで作業を行ってもらい、覚えたら一人での作業をお願いしようと思う。作業の多くはもともと空き時間で行っていたもの。将来的には、月末に発生する労務データの入力やパワーポイントを使った資料作成、来客対応もできるようになってほしい。本人のことはしっかりとしている印象であり心配していない。

問 5 問 4 で解答した「B 事業所への支援事項」に応じた支援として、具体的にどのようなものが考えられるか、解答用紙の「支援の具体的な内容・方法」欄に記述しなさい。また、その支援を行う上で連携が必要と考えられる支援機関がある場合は、その支援機関名（例：障害者就業・生活支援センター等）も含めて記述しなさい。

なお、支援の方法・内容については、例えば「ジョブコーチ支援を行う」といった支援方法のみではなく、「ジョブコーチ支援を通じて、〇〇、〇〇について助言する」というように支援の具体的な内容も記述すること。

問 6 問 5 で解答した「支援の具体的な内容・方法」について、あなたはなぜその支援の内容・方法が必要と考えたのか、A 氏のニーズや特性、B 事業所の状況を踏まえて、200 文字以内で記述しなさい。

【メモ欄】

B 問題

次の語句についての説明を、解答用紙の欄にそれぞれ 70 字程度で記述しなさい。

問 1 ジョブマッチング

問 2 ソーシャルスキルトレーニング

問 3 職業評価

3. 少人数面接試験問題

架空の事例を提示。

指定された 1 つの事例に対して、自身の考えを回答する。

(出題例)

①ある利用者は一般企業で障害を開示して就労しています。不注意の傾向があり、また整理整頓が苦手で、事務補助の作業を行う際に、作業に必要な書類や伝票などが他の書類に混ざってしまうことや、違う伝票を入力してしまうことがあります。職場の管理者は、今の状況が続くのであれば利用者の担当業務を事務補助ではなく、利用者の希望していない商品の運搬や事務所清掃へ変更せざるを得ないと考えています。

この方が、今の事業所で安定して働き続けていくために、あなたならどのような支援をしようと考えますか。
なお、障害種別は発達障害です。

②ある利用者は、働く時に、精神疾患がまた悪くなるのではないかという不安から、企業で働くかどうか、気持ちが揺れ動くことが多い状況です。気持ちが安定している時は「企業で働いてみたいと思います」と言いますが、うまく作業に対応できず気持ちが落ち込むと「病気が再発するのではないかと不安なので、企業で働くのはやめようと思う」と言うことを、頻回に繰り返しています。支援者の間では、「就職活動にチャレンジした方が良い」という意見と「もう少し準備をしてからチャレンジする方が良い」という意見も出ていて明確な方針は決まっています。

この方が、これから就職し働き続けていくために、あなたならどのような支援をしようと考えますか。
なお、障害種別は精神障害です。

③ある利用者は一般企業で障害を開示して就労しています。仕事についての指示が理解できなくても「分かりました」と返事をしてしまうことがあります。本人が「分かりました」と回答したため作業をさせたところ、指示とは異なる行動をすることが頻繁に生じています。

職場の他の従業員からは同じグループで作業をしたくないとの声が出ていて管理者は対応に苦慮しています。

この方が、今の事業所で安定して働き続けていくために、あなたならどのような支援をしようと考えますか。
なお、障害種別は発達障害です。